



サイトセンシング株式会社 代表取締役

## 平林 隆 さん



### 非 GPS 環境下ドローンの自動飛行 / 撮影による 現地状況リモート管理システム

住 所 東京都千代田内神田 1-15-6 和光ビル 3A

e-mail info@site-sensing.com

U R L <https://site-sensing.com/>

創 業 2012年6月1日

事業内容 非 GPS 環境下（例：屋内・地下）における移動体（例：人・車両）の測位を得意とする PDR（自律航法）をベースとした事業を展開中。この技術をドローンに応用することで、非 GPS 環境下でのドローンの自動飛行の実現に向け現在進行中。



### 🔥 真の人生を見つけ、課題解決に挑むべくベンチャーを起業

平林さんは構造力学が専門でゼネコンに勤務後、1992年経営コンサルタントに転身。外資系コンサル企業で新規事業開発の経験を積んだ後、産業技術総合研究所（以下「産総研」という）で技術シーズのベンチャー化を担当し、2012年に産総研からのスピンアウトベンチャーとして独立。サイトセンシング株式会社を起業しました。

平林さんは、ご自身のキャリアについて、経営コンサルタントへ転身したときに真の人生が始まったと語ります。

そんな平林さんの原体験は、ゼネコン勤務時代に経験したモヤモヤとした違和感でした。メンテナンスに不可欠な建造物には現況情報や図面がないことにより、現場では様々なムダや無理、不合理が渦巻いている。しかし、産総研に移ると、先端テクノロジーによる課題解決やハピネス向上への可能性に触れる機会を得られました。そしてついには自らがベンチャー企業としてサイトセンシングを立ち上げるに至り、積年の違和感を解消しようと歩みを進めます。

### 🔥 リモート管理システムで生産性革命を起こす

サイトセンシングは、非 GPS 環境下での位置情報事業を展開する、アンチ GPS の技術系ベンチャーです。注目は、非 GPS 環境下でのドローンの自動飛行です。本来、ドローンが自動飛行を行うために、GPS の情報は不可欠です。GPS があることで、ドローンは自分が飛んでいる位置を把握できるからです。しかし、通信環境が悪いなどの理由で GPS が十分に使えない場所も多く存在します。

そうした GPS が届かないような場所で、たとえばメンテナンス不足により崩壊してしまった建築物や、大規模災害で事故被害を受けた土地や建物の復興や修繕などの業務が発生すると、真っ先に行うべき現地状況の把握が困難となります。図面や情報は皆無に近いケースも多く、メンテナンス担当者は現地調査に相当な時間とコストをかけねばならず、思うようにメンテナンスが進みません。この課題を解決するのが、非 GPS 環境下でも自動飛行ができるドローンです。

非 GPS 環境下で自動飛行するには、ドローン自身が自分の位置を把握する必要があります。位置の推計に必要な演算について、負荷を軽くできたことが、サイトセンシングが持つコア技術です。この技術を使うことで、ドローンは人が入れないような場所にも自分で進むことができ、さらにそこで周辺の撮影もできれば、現地の現況をリモートで確認できるようになります。こうしたサービスの実現に、複数の県内企業とも連携し、閲覧・管理用のポータル

やアプリとの連携システムなどの開発も進めます。

コロナ禍と呼ばれる現在では、建造物のメンテナンスの担当者は、出張を繰り返すことで感染症に襲われるリスクも高まります。こうした状況で、非 GPS 環境下でのドローンの自動飛行の重要性を再認識した平林さんは、メンテナンス業務に携わる人々の負担を和らげ、生産性革命を起こすべく奔走。J ビレッジのフリークエントユーザーとなって福島県内の実験環境を確保するなど、計画を前倒ししてドローンの飛行実験に注力。2025 年の上場を目指し、福島県内での活躍が続きます。

